

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新潟中央短期大学
設置者名	学校法人加茂暁星学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
—	幼児教育科	夜・通信	34			34	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて公開 → http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/pdf/jitsumu.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟中央短期大学
設置者名	学校法人加茂暁星学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 https://www.niigataum.ac.jp/houjin/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	県議会議員	平成30年2月6日～令和8年2月7日	法人の運営に関する助言
非常勤	会社経営	平成30年8月28日～令和6年2月26日	法人の運営に関する助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟中央短期大学
設置者名	学校法人加茂暁星学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、科目コード、科目名、開講時期、授業形態、単位、担当形態、担当、使用テキスト、卒業認定・学位授与の方針との関連、授業の概要・到達目標・年間の授業計画、事前事後学修、学習上の留意点・準備等、成績評価方法・評価基準、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて記載し、シラバス作成要領を作成して全教員に要請している。</p> <p>また、作成前にはシラバス作成のための FD を開催し、全学共通理解のもとで作成している。さらに、チェック作業は担当する教務委員会のメンバーにおいて、第三者によるチェックを実施している。</p> <p>授業計画は、実施する前年度末までに作成し、学生に対しては学生便覧に掲載して4月のガイダンスで配付している。外部に対しては、教育活動に係る情報公開と共にホームページで公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生便覧及びホームページ([情報公開]-[シラバス])</p> <p>http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.htm</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の修了認定は、授業科目の授業時数の 3 分の 2 以上出席した場合に認めることとし、授業科目担当教員が筆記試験、口述試験、論文、報告書その他適切な方法により学修の成果を評価し、成績評価基準(秀・優・良・可・不可)により判定している。「学則」及び「教育科目の単位認定に関する規程」に規定)</p> <p>また、各授業科目の授業計画(シラバス)に成績評価方法と評価基準を示している</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、授業科目の到達目標に対する学生の学習到達度によって評価される。成績は秀・優・良・可及び不可とし、100点法により採点し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上とし、60点以上を合格とする。

また、学修成果の指標の一つとして、授業科目ごとの成績評価に対してグレードポイント(GP)を付けて履修科目の平均を算出する。GPAは、学生の学修成果の把握、学修指導、奨学金関係等の学修成果を指標とする場面で使用される。

【成績評価とGP】

評価	評 語		評点 (100 点満点法)	GP
	和文	洋文		
秀	秀	S	90 点以上	4
優	優	A	80 点以上 90 点未満	3
良	良	B	70 点以上 80 点未満	2
可	可	C	60 点以上 70 点未満	1
不可	不可	D	60 点未満	0
失格	失	N	修了認定資格を満たしていない (未受験、出席不足) (Not Applicable)	対象外
認定	認	T	本学以外で修得した授業科目又は入学前に修得した授業科目で本学が認定したもの (Credits transferred)	対象外

※次の授業科目は、GPA の対象科目から除きます。

- ① 所定の手続きにより履修登録を取り消した授業科目
- ② 修了認定資格を満たさない失格評価の授業科目
- ③ 入学前又は他大学で修得した科目を認定した科目 (単位認定科目)
- ④ 履修中の授業科目

【GPA の計算時期】

学期	GPA の種類
1 年次前期	学期 GPA
1 年次後期	累積 GPA
2 年次前期	学期 GPA 及び累積 GPA
2 年次後期	累積 GPA

【GPA 算出方法】

学期 GPA = $\frac{\text{秀の単位数} \times 4 + \text{優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1 + \text{不可の単位数} \times 0}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$

累積 GPA = $\frac{\text{秀の単位数} \times 4 + \text{優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1 + \text{不可の単位数} \times 0}{\text{在学中に評価を受けた科目の単位数の合計}}$

※不合格と評価されたのちに再履修によって合格となり単位を修得した授業科目については、再履修によって得た評価と単位数をGPA算定に算入します。

※GPAの値は小数第2位までとします。(小数第3位以下切り捨て)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧及びホームページ ([情報公開]-[修学上の情報])
<http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針は</p> <p>①子どもの成長と発達を援助する専門的知識及び技能を身につけている</p> <p>②適切な保育を行うために必要な思考力、判断力、表現力を身につけている</p> <p>③多様な子どもと子どもを育む環境を理解し、共に学ぶ意欲、態度を身につけているとし、これに関連した学修成果を 13 項目に設定している。</p> <p>さらに、授業計画（シラバス）においてこの方針との関連を示している。</p> <p>卒業認定までの流れは、各授業科目の成績評価に基づき学生ごとに各学生の科目の合計点及び平均点等を算出し、卒業判定会議にて修得単位の状況等を確認して卒業認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生便覧及びホームページ ([情報公開]-[教育研究上の基礎的な情報]) http://www.niigatachuoh-ic.ac.jp/about/johokokai.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新潟中央短期大学
設置者名	学校法人加茂暁星学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ(https://www.niigataum.ac.jp/houjin/)
収支計算書又は損益計算書	ホームページ(https://www.niigataum.ac.jp/houjin/)
財産目録	ホームページ(https://www.niigataum.ac.jp/houjin/)
事業報告書	ホームページ(https://www.niigataum.ac.jp/houjin/)
監事による監査報告(書)	ホームページ(https://www.niigataum.ac.jp/houjin/)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ(〔情報公開〕-[自己点検・評価報告書]) http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ(http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/authorize.html)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育科
教育研究上の目的（公表方法：大学案内、学生便覧、ホームページ（[情報公開]-[教育研究上の基礎的な情報]） http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html ）
（概要） 新潟中央短期大学は、建学の精神に基づいて人格の陶冶を図り、教育基本法、学校教育法及び児童福祉法の定めるところに従って幼児教育に関する専門教育を行い、豊かな知性と情操、積極的な奉仕精神と実践力を練磨し、地球社会、我が国及び地域社会の福祉に貢献する人材を育成することを目的とする。 教育目標は、「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学案内、学生便覧、ホームページ（[情報公開]-[教育研究上の基礎的な情報]） http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html ）
（概要） 卒業の認定に関する方針は、 <ul style="list-style-type: none">・子どもの成長と発達を援助する専門的知識及び技能を身につけている・適切な保育を行うために必要な思考力、判断力、表現力を身につけている・多様な子どもと子どもを育む環境を理解し、共に学ぶ意欲、態度を身につけている とし、これに関連した具体的基準項目（「知識」「技能」「態度」「実践」を設定している。さらに、授業計画（シラバス）においてこの方針との関連を示している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学案内、学生便覧、ホームページ（[情報公開]-[教育研究上の基礎的な情報]） http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html ）
（概要） 次の方針に基づき、カリキュラムを編成している。 <ul style="list-style-type: none">・専門的な学修につながる知識・技能や社会人として必要な思考・行動を習得するための教養科目を設置する・保育・教育・福祉の場で求められる専門的知識・技能を修得するための科目を設置する・授業で修得した知識・技能等について、実践の場で応用・展開できる力を育む実習科目を設置する・少人数制のゼミナール形式の授業を設け、主体的に学ぶ姿勢・態度及び協働して課題を解決する力や論理的な思考力を育む科目を設置する・表現技法の習得を通して、子どもの成長と発達を援助する力と人間的成長を図る科目を設置する
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学案内、募集要項、学生便覧、ホームページ（[情報公開]-[教育研究上の基礎的な情報]） http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html ）
（概要） 入学者の受入れに関する方針は、 <ul style="list-style-type: none">・保育・教育・福祉に関わる仕事に就くことを希望し、努力できる人・子どもに愛情を持って関わり、子どもを理解しようとする人・自らの考えを持ち、また他者と協働しながら学んでいける人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ（[情報公開]-[修学上の情報]） http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
幼児教育科	1人	-					1人
	-	7人	3人	1人	1人	1人	11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		1人					2人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/gakka/teacher.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育科	100人	75人	75%	200人	144人	72%	1人	1人
合計	100人	75人	75%	200人	144人	72%	1人	1人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育科	84人 (100%)	1人 (1%)	81人 (97%)	2人 (2%)
合計	84人 (100%)	1人 (1%)	81人 (97%)	2人 (2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、科目コード、科目名、開講時期、授業形態、単位、担当形態、担当、使用テキスト、卒業認定・学位授与の方針との関連、授業の概要・到達目標・年間の授業計画、事前事後学修、学習上の留意点・準備等、成績評価方法・評価基準、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて記載し、シラバス作成要領を作成して全教員に要請している。</p> <p>また、作成前にはシラバス作成のためのFDを開催し、全学共通理解のもとで作成している。さらに、チェック作業は担当する教務委員会内でワーキンググループを編成して、チェック項目により第三者によるチェックを実施している。</p> <p>授業計画は、実施する前年度末までに作成し、学生に対しては学生便覧に掲載して4月のガイダンスで配付している。外部に対しては、教育活動に係る情報公開と共にホームページで公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目の修了認定は、授業科目の授業時数の3分の2以上出席した場合に認めることとし、授業科目担当教員が筆記試験、口述試験、論文、報告書その他適切な方法により学修の成果を評価し、成績評価基準(秀・優・良・可・不可)により判定している。(「学則」及び「教育科目の単位認定に関する規程」に規定)</p> <p>また、各授業科目の授業計画(シラバス)に成績評価方法と評価基準を示している。</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>幼児教育科</td> <td>68単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	—	幼児教育科	68単位	有・無	単位
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)						
—	幼児教育科	68単位	有・無	単位						
GPAの活用状況(任意記載事項)	公表方法:									
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法:									

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法: ホームページ(「情報公開」-「教育研究上の基礎的な情報」)</p> <p>http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
—	幼児教育 科	590,000 円	230,000 円	330,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学は保育者養成を目的としていることから卒業と資格取得が密接に関連しており、それを支援するために学内に教務委員会、実習委員会、学生厚生員会を設置している。事務組織においても教務・学生厚生（専任職員1人）、実習（専任職員1人）を担当する専任職員を配置して教職員が連携してあっている。</p> <p>また、各学年に学年担任を2名配置して学生の支援・指導にあたりると共に、多様な学生に対応するためのプロジェクトチームを設置して基礎学力の向上等の対策を行っている。</p> <p>さらに、2022年度から、学生に寄り添い、学生を大切にする大学をめざし、教職員一体となった学生の育成体制の強化としてチューター制、そして、学生のリーダーシップ、パートナースHIP育成とコミュニケーション能力の向上を目指したハウス制を導入している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では卒業生の殆どが保育関連の専門職として就職することから、就職指導を担当する専任職員1人の他に実習事務を担当する専任職員1人により学生サポート室を設置して進路支援にあっている。就職指導担当者は、主に就職活動に関する事項、求人及び求職に関する事項、公務員試験・就職試験等の講座に関する事項等を担当している。実習事務担当との連携においては、専門職として就職する観点で、実習がインターンシップの要素を含んでいること、実習園も就職先となることから実習指導や情報を共有して就職支援を行っている。</p> <p>また、「もっと専門性を身につけたい」「もっと自分を成長させたい」「新たな環境でもっと学んでみたい」と、自分自身のさらなるステップアップのために他大学へ編入学を希望する学生に関しては、県内外において編入学の指定校枠推薦枠の紹介などの情報提供、指導にあっている。一般企業を希望する学生に関しては、同学園の新潟経営大学の就職指導室と連携して情報提供、指導にあっている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>ハラスメントに関しては、キャンパス・ハラスメント防止委員会を設置し、ハラスメント相談に関する窓口を教員及び事務職員で担当している。</p> <p>健康管理においては、学校医による健康相談を毎月実施している。また、健康管理増進室（同学園の新潟経営大学と施設を共有）において日常のケアを行っている。</p> <p>心のケアに関しては、学校カウンセラーを1人配置し、毎週、相談日を設けて対応している。</p> <p>健康管理、心のケアそれぞれ状況や必要に応じて、学校側に配置している学生厚生委員会と連携するなどして学生の状況に応じた対応をとっている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：ホームページ（[情報公開]-[修学上の情報]）</p> <p>http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp/about/johokokai.html</p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F215310105274
学校名	新潟中央短期大学
設置者名	学校法人 加茂暁星学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		14人	11人	25人
内 訳	第Ⅰ区分	—	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				25人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		—	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		—	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		—	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。